

那珂川市文化芸術推進計画パブリック・コメントの実施結果について

実施受付期間 令和6年2月1日（木）～令和6年3月1日（金）

実施人数 2人

資料 1

番号	項	意見	回答
1	ー	<p>子どもたちむけにダンスと歌の体験会、親子で楽しめる歌とダンス、のようなテーマでやれたらいいなと思っています。</p> <p>また、所属している団体のメンバーも積極的に活動しているので、ぜひ色々なテーマで芸術活動ができればと考えています。</p> <p>例えば、バレエ超入門編、コンテンポラリーを作ってみる、社交ダンスでコミュニケーション、歌って踊って笑い合おう、舞台を作って踊ってみる、などなど、テーマは無限にできます。那珂川にはたくさんのアーティストもいるので、ダンスと絵のコラボとかもできたら楽しいかなと思いますし、自然と芸術、川で踊る、とかも楽しそうです。あとはなかなか土日にそういった時間を確保できない子供達のためにも、小学校や中学校にアウトリーチができれば嬉しいなと思っています。</p> <p>私たちは自分たちが持っている知識や技術を活かして地域貢献できることがとても嬉しいので、何か力になれることがあれば、ぜひお気軽に使ってください！ボランティアでもなんでもします！！</p> <p>芸術が持つ力がどれだけ大きいかを知っている人が周りにたくさんいるので、その想いや力を発揮できれば嬉しいです。</p>	<p>貴重なご意見として、参考にさせていただきます。</p> <p>計画の推進にあたり、市民の皆さまや関係機関・関係団体等の皆さまと協力・連携のもと、必要な施策を実施したいと考えています。</p> <p>具体的な取り組みのなかで、ご協力をお願いすることもあるかと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p>
2	18	<p>第1章の計画の基本的な考え方の背景に本市の文化芸術施策の状況という項目があります。その中に本市のまちづくりの最上位計画である「那珂川市総合計画」では「郷土の歴史や文化に触れる機会を充実させ、ふるさとに対する愛着や誇りを育むこと」とあります。また4ページ的那珂川市の概要12行目から「豊かな自然の中で古くから育まれた文化や歴史が数多くあるだけでなく、未来を見据えて本市の魅力を高めるための新しい試みにも積極的に取り組んでいます」とあります。しかし行政側がそれを実践しているのかと考えるとあまり無いのでは、と考えます。</p> <p>私たちの団体の目的是那珂川市民には「那珂川市の素晴らしい史跡等を案内して、郷土愛を深めていただく」ということです。また市外の方には「那珂川市の素晴らしい史跡等を案内して、那珂川市のイメージアップを図る」ということです。</p> <p>令和4年度の実績はコロナ禍ではありましたが、その対策を講じながら那珂川市の史跡</p>	<p>本市の歴史の継承やPR等にご尽力いただきありがとうございます。また、活動を通じた体験をお伝えいただきありがとうございます。</p> <p>本市の文化芸術に対する市民の関心を高め、その価値を伝え次代に継承できるよう、本計画を推進してまいりますので、本市の文化行政への貴重なご意見として、参考にさせていただきます。</p> <p>ご提案いただきました内容については、現状と課題について記載されたものではなく、実施する施策の具体的な例にあたるものと考えます。地域の魅力的な文化の継承や各施策を進める中で、既に貴団体の取り組みのなかで実施されている活動もあると思いますが、他市の取り組みも参考に、具体的な取り組みについては、貴団体をはじめとする関係団体の皆様と協力・連携のもと進めさせていただきたいと考えています。今後ともなお一層のご協力をお願いします。</p>

他を 44 回で 1726 人の方を案内しました。また今年の 1 月に日本観光振興協会に提出した資料に記しましたが、2023 年 1 月から 12 月までの案内者数は 967 人になります。その内容ですが、小学生からシニアの方々まで幅広く案内させていただいています。私共の活動は行政の現場の方には理解が薄いようです。しかし文化協会やミリカローデン那珂川には認めていただいています。特にミリカローデンとは以前から市民への歴史散策などを依頼されています。多くの歴史散策を企画実施しました。いずれもとても好評でした。上記ツアーは電話申し込みではなく窓口での申し込みになりますが、ミリカローデンの広報力と広告力もあり、わずか 1~2 週間で定員に達したツアーもありました。いずれのツアーもとても好評でした。ちなみに今年は元寇 750 年ということで「少式景資」に関連したツアーを企画しています。

私共の活動の中で、小学 3 年生や 4 年生の授業もさせていただきますがまだ歴史も習っていない子どもたちがしっかり興味を持って聞いてくれます。授業が終わった後に質問もしてきますし、もっと話を聞きたかったなどと言ってくれました。また行政区のシニアの方向けの講演も依頼され実施しましたが、最初に安徳台遺跡を知っている方に手を挙げてもらいますが、ほとんどの方は知りません。しかし安徳台遺跡他の史跡を分かり易く話しますと、楽しかったですし、那珂川市の歴史のことがよくわかりましたと言っただけでした。

那珂川市の歴史を知らない人にも分かりやすく話すと、興味を持っていただけますし、理解していただいて那珂川市の歴史は素晴らしいね、と言っただけです。

33 ページのワークショップの実施結果というなかの、文化財の活用ということで「那珂川市の文化財をきちんと知らない市民も多いため、学ぶことができる講座やツアーがあったり、文化財等に解説されたりすると良い」という意見がありました。まったくその通りだと思います。

那珂川市の最上位計画にある総合計画では「郷土の歴史や文化に触れる機会を充実させ、ふるさとに対する愛着や誇りを育むこと」とあります。当団体はそれを実践していますが、行政もそれを実践するべきだと考えます。例えば昨年未までに行政側が単独で、展示とかはしていますが、安徳台や裂田溝他のツアーは行われなかったと思います。やはり現地に行行って現地の史跡等を見ることがとても必要だと考えます。

他市の取り組みですが、定期的に史跡を多くの市民に見せて理解をしてもらうことが前提になっています。他にも同様のツアーを定期的に行ってる市町村もあります。那珂川

また、古墳カフェについてのご意見は、個別事業のご意見として所管課内で共有させていただきます。

市は他市と比べ遅れを取っていると感じます。よって那珂川市も同様なツアーを定期的に行うべきだと考えます。

文化振興課が 2 月 17 日に久々に古墳カフェを行いました。定員があり、また参加費が 800 円と高額でした。もし今後、あるべきツアーを行うとしたら那珂川市の史跡や文化財に興味の無い人に対し、幅広く国史跡安徳台遺跡や日本遺産の裂田溝等の史跡に行ってもらえるのが大きな目的となります。よって参加費は取らずに、若干な予算はかかるかもしれませんが、何かプレゼントをするなどの工夫が必要だと考えます。

当団体は通常の活動とは別に、行政と手を結んで、那珂川市民に那珂川市の歴史の素晴らしさを理解してもらい、那珂川市に誇りを持っていただくための活動を新たに行えればと考えます。行政側の組織はどの課でも構いません。

そのための企画は、これまでの実績からしっかり提案させていただきます。また、市民の方のガイドをする時は難しく話をするのではなく、ロマンを持った楽しい話をさせていただきます。

18 ページの 3.つなぐために、基本施策 1 の地域の魅力的な文化の継承の中の現状と課題の欄の中に下記の文章を入れていただければと思います。5 行目の「～生まれていきます。」の後に「また歴史的価値が高い史跡を市民の方に知っていただくために、今後定期的に歴史ツアー等の企画を実施していきます。」という文言を入れていただければと思います。